



日本学術会議公開シンポジウム

持続可能な野生動物管理 システムの構築と人材養成

令和元年12月3日（火）13:00-17:00

（12:15受付開始）

会場

日本学術会議 講堂

（東京都港区六本木7-22-34）

参加費無料
事前登録不要

今回の日本学術会議 公開シンポジウムでは、日本型管理システムの提案を紹介し、先進的な野生動物管理を実施している県および市町村の取り組みの実例報告に基づいて、科学的な野生動物管理システムとそれを支える人材の具体像と課題を把握して、情報の共有化と提言の実現に向けての総合討論を行う。

プログラム

- 13:00-13:15 開会挨拶：山極 壽一（日本学術会議会長、京都大学総長）
鳥居 敏男（環境省自然環境局長）
- 13:15-13:35 趣旨説明：鷺谷 いづみ（日本学術会議連携会員、中央大学理工学部教授）
- 13:35-14:00 日本型野生動物管理システムの提案：
梶 光一（日本学術会議特任連携会員、東京農工大学名誉教授）
- 14:00-14:25 兵庫県における野生動物管理システム：
横山 真弓（日本学術会議特任連携会員、兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授）
- 14:25-14:50 島根県における野生動物管理システム：
金森 弘樹（島根県中山間地域研究センター農林技術部研究調整監（鳥獣対策科長））
- 14:50-15:05 休憩
- 15:05-15:30 小諸市における鳥獣対策システム：
竹下 毅（長野県小諸市農林課林務係主査）
- 15:30-16:30 リレートーク&討論：「科学的野生動物管理へ：学術からの展望」
・農山村の持続性の視点から 小田切 徳美（日本学術会議第二部会員、明治大学教授）
・野生動物管理にかかわる人材育成と配置 鈴木 正嗣（日本学術会議特任連携会員、岐阜大学教授）
・野生動物の資源利用における衛生管理 高井 伸二（日本学術会議第二部会員、北里大学獣医学部教授）
コーディネータ：湯本 貴和（日本学術会議特任連携会員、京都大学霊長類研究所教授）
- 16:30-16:45 回答の政策化において：川越 久史（環境省自然環境局鳥獣保護管理室長）
- 16:45-17:00 閉会の挨拶：鷺谷 いづみ（日本学術会議連携会員、中央大学理工学部教授）

主催：日本学術会議課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」

共催：野生動物管理全国協議会、「野生生物と社会」学会

後援：環境省、農林水産省、日本生態学会、日本哺乳類学会

問合せ先：日本学術会議「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」副委員長 梶 光一 E-mail:kkaji@cc.tuat.ac.jp